



▲開会あいさつで熱く語る神部泰議長



▲運動の前進に向け「団結ガンバロー!!」

## 憲法を守り生かし、平和な社会の実現のため 声を上げ続けよう!!

### 第68回 広島県労連評議員会

第68回評議員会は6月24日、53人の参加で開催。春闘中間総括、中間決算、定期大会までの方針などの議案が承認され、「憲法を守り生かし、平和な社会の実現のために声をあげ続けよう」のアピールが採択されました。  
19人が討論に参加、うち評議員6人の発言を紹介します。

#### ■福山区区労働会議 中藤久雄

福山市の(株)興産産業運送業では、社長のパワハラに職員が悩まされていた。「なんとかしたい」との思いで15人が集まり組合結成。最初の団交で就業規則にある「事故時の制裁金3万円」は撤廃され、ベースアップ5040円などの成果を勝ち取り、「不当労働行為をしない」との文書回答を引き出した。働きやすい職場づくりを前進させていく。

#### ■全教広島 山口俊幸

広島市は、学校のプールに不備があっても改修をせず、近隣の学校や公営プールを使って授業を行うという。バスの移動で授業が短縮されても、車内で指導ができるから問題ないそうだ。公営プールは天気にも左右されないと自慢する。ならば体育館にエアコンを入れることで、年中

#### ■広島県医師連 佐々木歩

3年に渡るコロナとの闘いの中で医療、介護現場の業務は混乱に混乱を重ねてきた。患者のみならず自らがコロナに罹患することで現場の人員確保はさらに困難を極めた。燃え尽き退職、くたびれ退職、さらには人手不足と多忙な職場環境から生じる一部の職員からのパワーハラスメントを原因とする

#### ■年金者組合 亀井正美

コロナの影響や組合員の高齢・死亡などで活動が困難になる中で、組合員は減少傾向だ。知恵を絞って組合員同士のつながりを強める取り組みをしている。毎月ニュースを発行し、支部で独自の誕生日プレゼントやお祝い金を送り組合員とのつながりを強めている。少人数ながら年金支給日の街頭宣伝や春の遠足などレクリエーション活動に取り組んでいる。健康体操が好評で毎月行っている。

#### ■呉地区労連 佐伯真司

「安保3文書」が強行される海上自衛隊呉基地の増強に拍車がかかっている。全国283地区の自衛隊基地などを他国からの攻撃に耐えられるよう「強靱化」することを決め、広島県では呉基地が対象になっている。

#### 海上自衛隊呉地方総監部の地下を爆発物にも耐えられるような堅固な「地下壕」にする計画のほか、ミサイルを保管する「弾薬庫」の計画も明らかになっている。ヘリコプター護衛艦「かが」を改修して「空母」にするなど、いま海上自衛隊呉基地は、憲法違反の敵基地攻撃の先兵の役割を果たす危険な基地になっている。岸田政権が企てる大軍拡、大増税を阻止し、呉基地の軍都復活、出撃基地化を許さない行動に奮闘する決意だ。

メンタル不全退職があとを絶たない。

介護職場ではあまりの賃金の低さに若い労働力が確保できず60代70代の仲間が頑張っている。社会的役割にふさわしい賃金と人員増を求め、請願署名にぜひ皆さんの力を貸してほしい。

#### ■年金者組合 亀井正美

コロナの影響や組合員の高齢・死亡などで活動が困難になる中で、組合員は減少傾向だ。知恵を絞って組合員同士のつながりを強める取り組みをしている。毎月ニュースを発行し、支部で独自の誕生日プレゼントやお祝い金を送り組合員とのつながりを強めている。少人数ながら年金支給日の街頭宣伝や春の遠足などレクリエーション活動に取り組んでいる。健康体操が好評で毎月行っている。

#### ■呉地区労連 佐伯真司

「安保3文書」が強行される海上自衛隊呉基地の増強に拍車がかかっている。全国283地区の自衛隊基地などを他国からの攻撃に耐えられるよう「強靱化」することを決め、広島県では呉基地が対象になっている。

#### 海上自衛隊呉地方総監部の地下を爆発物にも耐えられるような堅固な「地下壕」にする計画のほか、ミサイルを保管する「弾薬庫」の計画も明らかになっている。ヘリコプター護衛艦「かが」を改修して「空母」にするなど、いま海上自衛隊呉基地は、憲法違反の敵基地攻撃の先兵の役割を果たす危険な基地になっている。岸田政権が企てる大軍拡、大増税を阻止し、呉基地の軍都復活、出撃基地化を許さない行動に奮闘する決意だ。

#### 福保労 新宅弘彦

ひまわり福祉会は、4年前にオハナ分会を結成して以来、掲示板の掲示物を事前承認するとか、職員向けのアンケートの実施に制限をかけるなど、労組に対する嫌悪を強く示してきた。今回の降格も組合員である村山保育主任に対する不当労働行為といえる。4年間のたたかいは通して、4名で結成したオハナ分会が、現在、12名になった。「あつてよかった」と思える組合を目指していく。

### 平和の行事案内

#### 国民平和大行進 8月4日(金)

- ・府中町原爆碑 8時半出発式
  - ・新庄橋北詰 9時5分出発式
  - ・宇品第2公園 8時45分出発式
- 集結集会&パナントアピール行動  
平和公園噴水前 11時15分~45分

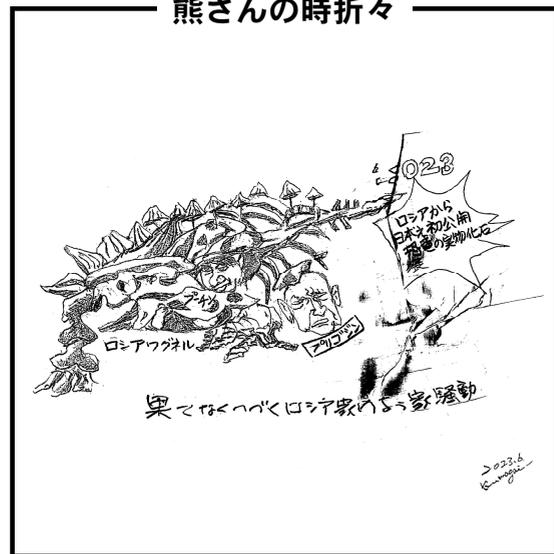
#### 通し行進者お疲れ様会 8月3日(木)

- 広島ロードビル 18時~ 行進者の話を聞く会 (3F会議室) 無料
- 19時20分~ 食事会 (1F LOTTA)
- 参加2000円 (要申込=県労連)

#### 原水爆禁止世界大会

- ・国際会議  
8月4日(金) 14時 広島JAビル  
8月5日(土) 9時半 広島JAビル
  - ・ヒロシマデー集会  
8月6日(日) 13時 グリーンアリーナ
- ◇とうろう流し 19時半~ 基町河川公園

#### 熊さんの時折々



### 広島県労連2023年度役員選挙の告示

広島県労連規約第26条第3項に基づいて規定された役員選挙規定の定めにより、広島県労連2023年度役員選挙に関する事項について、下記のとおり告示します。

記

1. 役員定数  
選挙する役員と定数は、第66回評議員会(6月24日・広島ロードビル)の決定により以下の通りとします。  
①議長 1名  
②副議長 4名  
③事務局長 1名  
④事務局長次 3名  
⑤幹事 14名  
⑥会計監査 2名
2. 役員任期  
役員任期は広島県労連規約第24条に基づいて、翌年の定期大会までとなります。
3. 選挙日程  
①立候補の届け出期間は、  
2023年8月1日(火)10時より  
2023年9月1日(金)12時までとします。  
②選挙の投票は、郵送により実施します。(郵送9月5日)  
③投票締め切りは9月14日(木)17時県労連着とします。  
④開票作業は、9月14日(木)18時半より県労連事務所にて行います。  
⑤投票結果の公表は、第35回広島県労連定期大会(9月16日)にて行います。
4. 役員立候補の届け出方法  
役員立候補の届け出は、「役員立候補届」用紙に必要事項を記入のうえ、「役員選挙管理委員会」に提出してください。

### 推進力

私たちは自分の人生を自分らしく生きたいと願っています。しかしそれは自分ひとりの力では実現できません。人間らしい生活を社会の共同の力で実現することが社会保障です。日本国憲法は国の責任として「社会保障」の向上を定め、社会保障の根拠となる権利を明確にしています。憲法には国民の正しい権利である「社会保障」を支える豊かな人間観が含まれています。歴史を振り返れば、生まれたばかりの資本主義では、労働力を持たない人間は大切にされませんでした。けが人や高齢者はクビになって終わりとなされたのです。その先は本人の自己責任という世界でした。そんな中で労働者は、人は自由だけでは生きられない、国家によるくらしの支えが必要とする社会権の思想を発展させ、公的な社会保障制度を生み出しました。日本国憲法も「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」としています。しかし、社会の実態はこの理念に遠く及ばぬものにとどまっています。▼日本政府は、ロシアによるウクライナ侵略や、アメリカと中国との軍事的緊張の高まりのなかで、アメリカに追随した仕方で、敵基地攻撃能力」を主張しています。そのため大軍拡を行い、大増税を行おうとしています。それは必然的に社会保障の削減につながります。平和憲法を生かす国際平和の実現こそが、人権保障に不可欠です。

# なんじゃらほいほい

No.390 和井かやの



▲7月5日、平和公園を出発する国民平和六行進



▲7月6日、佐伯区役所で挨拶する高東さん(右端)



▲フラッグを掲げてにこやかに行進

# ノーモア・ヒロシマ ノーモア・ナガサキ 核兵器なくそう！ 戦争の準備やめて 2023年 国民平和六行進

## 広島↓長崎 被爆地を結ぶ 平和行進スタート

ヒロシマ・ナガサキ被爆地をつなぐ国民平和六行進の広島市出発式が7月5日平和記念公園で行われました。広島県実行委員会神部泰実行委員長は、「G7サミット広島ビジョンでは核抑止論を公然と宣言し、核兵器禁止条約にまったく触れていない」と批判し、「核抑止ではなく、日本政府は核兵器禁止条約に参加せよとの声を平和行進でも訴えていく」と挨拶しました。

広島のうたごえ協議会が「平和を」などの歌で行進者を激励。参加者は「核兵器なくそう」などとコールし、平和公園を出発しました。

二日目の佐伯区役所出発式では黒い雨の会の高東征二さんが挨拶。高東さんは、黒い雨裁判でのお礼を述べ、「内部被爆で苦しんでいた多くの人が手帳を手にすることができた」と報告。さらに「広島原爆で亡くなった人は、2021年8月32万8929人に及ぶ。しかし、この中に黒い雨被災者の多くは入っていない。一発の原爆がいかに多くの人の命を奪い苦しめているか。岸田首相は『広島ビジョン』で核兵器禁止条約に一言も触れず、いざとなれば核兵器を使用するに核兵器廃絶の願いをこめて書いて、大竹市役所を出発。15時過ぎには山口市和木町に到着。山口の参加者を含め40人がコールし、核兵器廃絶の決意を示しました。

7月7日は前日の晴天とは打って変わって雨模様。七夕ということもあり、笹飾りに核兵器廃絶の願いをこめて書いて、大竹市役所を出発。15時過ぎには山口市和木町に到着。山口の参加者を含め40人がコールし、核兵器廃絶の決意を示しました。

「核抑止論」を全面的に正当化した。被爆者はみんな「戦争はしないで！」「原爆や核兵器は二度と使わないで！」と言いつづけてきた。これからもいっしょに言い続けよう」と訴えました。

区長や議長からの激励を受けて

広島県内の行進は3日間続き、西区役所、佐伯区役所で区長が、廿日市市役所では副市長と市議会議員、大竹市役所では課長からそれぞれ挨拶をいただきました。

### ジェンダー平等鉛筆

広島県労連は、「ジェンダー平等」社会をめざし「ジェンダー平等・川柳」を3月に募集しました。1つ7句(42人)の応募があり、その中から「選手権」(投票)

を実施。入賞作品として11句が選定され、うち5句は鉛筆(ジェンダーカラー)に刻印され6色のカラーオリジナル鉛筆が完成。一定本数を産別・地域組織に配布していきますが、追加注文も受け付けます。(1本100円)

- おくお茶 私はお茶では ありません
- 無意識の その一言の 罪深さ
- 見つめよう 自分のなかの ジェンダー観
- オギヤートね 生まれた日から 皆平等
- 核軍縮 ジェンダー平等こそ 廃絶の鍵

## 第38回網の目平和行進

6月23日(金)に「第38回網の目平和行進」を行いました。民主団体や労働組合など250名の行進団が4コースに分かれ、平和と核兵器廃絶を願うシュプレヒコールをあげながら広島市内を行進。平和公園では「うたごえ協議会」が4つの行進団を美しい歌声で迎えてくれました。

恒例となった『ねこバス』は、コロナ対策のマスクをはずして参加しました。

集結集は、沖縄犠牲者も含めて、原爆犠牲者への黙祷のあと、主催者から挨拶。市原水協の金子代表は、ロシアのウクライナ侵略での「核対核」を批判し「核兵器保有国に完全廃棄」を求めました。

最後は市教組(全教)の藤中執行委員長が「軍拡ではなく話し合いが大切」の声を大きな声にしようと訴えました。

この網の目平和行進は、原水協禁止世界大会の成功に向けたスタート行事です。「核抑止を許さない」「核兵器禁止条約に署名・批准を」の願いをひろげましょう。



▲プラカードをかかげてアピール

## 公務労働者の声を聴け

公務労組連絡会中国ブロック協議会は、7月3日人事院中国事務局と交渉を行いました。

一時金支給率まで削減となり、生活関連手当の支給されない再任用職員の賃金改善や定年延長初年度における職場の状況や賃金、非常勤職員の処遇改善について、各種休暇が無給となり到底権利保障されているとはいえない状況の改善や雇止めを無くすことを訴えました。

中国5県からの代表13名が参加しました。

交渉後には、池田銅像前で決起集会を行い30名が参加。中国各県からの参加者が職場の状況や交渉の様子を語り、かつて同じ公務の仲間として奮闘した国鉄労働組合からも連帯のあいさつがあり、8月上旬に迫る人事院勧告に向けた決意を固めました。



▲集会で「引き続き奮闘しよう！」

## 「はだしのゲン」削除問題学習会

「はだしのゲン」削除問題とひろしま平和ノート学習交流集会を7月9日(日)に「広島市の未来を考える教職員の会」と市教組(全教)の共催で開催しました。当日は警報が出るほどの悪天候でしたが、60人もの参加があり、この問題への関心の高さが現れました。

講師の井村さんは「新しい平和ノートでは、原爆を落とした国名や憲法9条、日本の戦争加害、核兵器廃絶に向けた平和運動などが書かれていない」と批判。続いて辻さんからは「指導書に『外務省のHPを参考に』とあり日米の核抑止が前提の核軍縮の考え方に子どもを誘導しようとしている」と痛烈に批判しました。



## 広島生活保護裁判を支援する会 第17回総会

7月9日開催された総会には52人が参加。花園大学社会福祉学部吉永淳教授が「天王山！いのちのとりで裁判と生活保護裁判の到達点」と題して講演。吉永氏は「生活保護は、すべての社会保障の岩盤である。その生活保護で社会的な付き合いができないのは大きな問題」とし、「日本社会では1人分の食事が110円以下の家庭が4割にもなる。セーフティネットで救えない多くの国民がいる。」ことを紹介。「生活保護裁判は、日本の社会保障にとっても天王山である」と強調しました。

最後に「日本の相対的貧困世帯(年収127万円)は、1,932万人に及ぶが、生活保護を受給している世帯はその10分の1程度にしかない(補足率)ことが問題」とし、『生活保護は何のためにある?』かを私たち一人ひとりが考えていくことが大切」と話しました。

## ヒロシマ労連 第39回評議員会開催

6月30日28人が集まり評議員会を開催。金子秀典副議長による「核兵器をめぐる情勢」を学習し、評議員会では6人が発言。「憲法を暮らしに生かし核兵器廃絶のための声を上げ続けましょう」との大会アピールを採択しました。

寺本和男議長は挨拶で「子どもたちはプールでの水泳授業を楽しみにしているが、プールの底が壊れても修理費が高いから直さない。近くの民間プールに泳げに行け」と言う広島市教育委員会の不条理に言及。「平和記念公園とパールハーバー国立記念公園アメリカの姉妹公園協定すること」に言及。姉妹公園協定の締結が「なぜ今なのか」「どんな意図なのか」、被爆地ヒロシマから宣言した「核兵器は平和に役立ち必要とする『核抑止』を肯定したヒロシマビジョンと無関係なのか」と語りました。

